

PPP/PFIの活用状況と収支状況(かほく市の場合)

参考資料3

○行政人口
・3.5万人

○普及率
(処理区域内人口/行政人口)
・84.6%

○使用料単価(円/m³)
・103.1円

○汚水処理原価
・254.1円

○職員数
・3名

管路施設

○延長:246キロメートル
○ポンプ場:2か所

業務	直営	民間委託	
		仕様	包括
巡視点検	一部	○	
調査	一部	○	
清掃		○	
修繕		○	
事故対応 (陥没、閉そく等)	○		
住民対応	○		

水処理

○下水処理場2か所

業務	直営	民間委託		備考
		仕様	包括	
運転管理			○	
点検			○	
清掃			○	
ユーティリティ調達			○	
緊急時対応			○	

汚泥処理

○2か所
(脱水→場外搬出)

業務	直営	民間委託		備考
		仕様	包括	
運転管理			○	
点検			○	
清掃			○	
ユーティリティ調達			○	
緊急時対応			○	

資源有効利用

○焼却施設1か所
(1市2町で広域処理)

利用手段	実施手法
中間貯留	MICS事業 (し尿汚泥との混燃)

収益	6.2億円
下水道使用料	2.8億円
雨水処理負担金	0.5億円
他会計補助金	2.5億円
その他収益	0.5億円
費用	6.0億円
管きよ費	0.1億円
ポンプ場費	0.2億円
処理場費	1.2億円
減価償却費	0億円
支払利息	3.5億円
その他費用	1.0億円
<small>(企業債残高15.9億円)</small>	
資本的収入	9.7億円
企業債発行	4.3億円
国庫補助金	0.6億円
他会計出資金	0.2億円
その他(他会計補助金等)	4.6億円
資本的支出	9.7億円
建設改良費	1.6億円
企業債償還金	8.1億円
その他	0円

<0.1億円>

<0.2億円>

<0.7億円>

(H26年度に企業会計へ移行予定)

<0.6億円>

<1.6億円>

※四捨五入の関係で数値の合計が一致しない場合がある

(数値出所) 地方公営企業年鑑 (H22年度実績データ)